

2019 年 2 月 20 日

お客様各位



健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本協会会員企業に対しまして、格別なるお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

鑄造業界は、ユーザーの競争力強化に貢献すべく、鑄物製品を継続的に安定供給するために商品開発、品質向上、納期確保、コスト低減等に日々努めております。

電力多消費産業である鑄造業界では、電力料金の全国的な値上げ以降、依然高止まりの状況が続いていることに加え、再生可能エネルギー固定価格買取制度の賦課金（2018 年度 2.90 円/kwh）は新年度より更に上昇し 3 円/kwh を超えることが予想され、まさに死活問題となっております。更に、恒常化している人手不足や働き方改革への対応等により、ユーザーへの安定供給のための人材確保は困難を極め、当業界を取り巻く環境は非常に厳しさを増しております。

政府は「未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）」2016 年 9 月策定）を踏まえ、下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準の強化、下請中小企業振興法に基づく振興基準の改正（一方的な原価低減要請の禁止、取引対価への労務費上昇分の影響の考慮、型・治具の代金支払いの改善など）を行っています。

当協会では、適正取引や付加価値の向上に繋がる望ましい取引慣行を普及、定着させる観点から、素形材産業取引ガイドライン、世耕プラン、業種毎に業界団体が策定した自主行動計画等を周知徹底するためのセミナーを開催し、また、過去及び将来にかけて、労務費上昇などの影響を適切に判断するため「鑄造業界労務費シミュレーションソフト」を作成し、積極的に取引適正化に取り組んでおります。

鑄造業はサポーター・インダストリーとして我が国のものづくりを支えてきました。人手不足への対応と働き方改革への対応は相反する課題であります。貴社を含むユーザーのご協力を賜り、これを克服して、今後とも安定供給の責任を果たしていく所存でございます。

何卒、鑄造業界の深刻な実情をご理解頂き、当協会の会員が貴社へ伺った際には会員の窮状をお聴き頂き、温かいご指導を頂けますことをお願い申し上げます。

末筆ながら貴社の益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます。

敬 具